



短冊に
いろんな字体で
願いこめ

よし坊

未来のファッションモデルかな？

議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第102号 平成17年7月29日

ケーブルテレビ事業

補正予算 2p

高率入札を委員会付託

工事契約 3p

ゴミにするのはもったいない

一般質問 4p

不審者対策は万全か？

委員会報告 8p



【発行】日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】議会広報特別委員会 TEL(0738)63-3810 Eメール gikai@town.hidaka.wakayama.jp

6月定例会

第2回定例会は、6月13日から21日まで、9日間の会期で開催した。

今定例会には報告1件、諮問1件、議案8件が提案され、うち工事請負契約の締結議案が、下水道対策特別委員会に付託されたが、慎重審議の結果、それぞれ原案のとおり可決した。

補正予算

一般会計

既定の予算額に6731万2千円を追加し、41億158万8千円とする。
主な内容は、新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業に係る加入負担金6378万8千円、自主防災組織資機材購入費に149万8千円、等。

主な質疑

問 新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業に対する負担区分は。

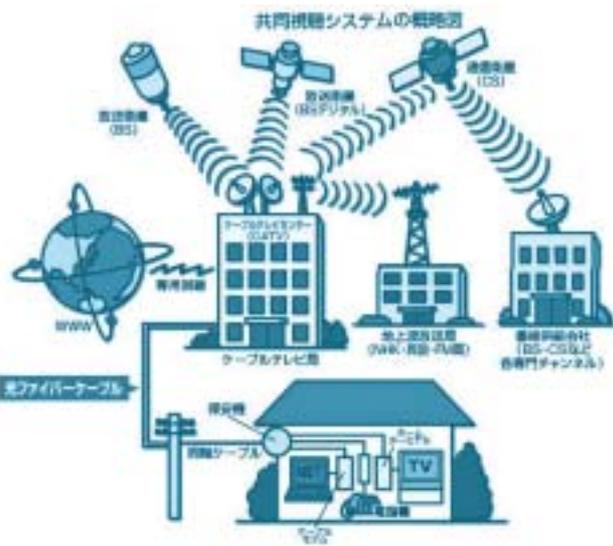
助役 町内全域において、同事業の普及促進を図る上で、町による一括買い取り方式が有効との考えから、一般世帯2600件から、公共施設40件、事業所60件の2700件について、加入金及び引込み工事に係る負担金などの6378万8千円を予算計上した。
財源措置については、地域づくり推進事業基金を充当する。

問 各戸の加入金、引き込み工事費を町が負担してくれるのは有り難いが、後の使用料1050円がネックになるのではと懸念されるが、半額くらいにならないか。

町長 今後、加入率を高めるためにも、この件については十分交渉する。

問 行政改革推進委員会委員報償金について詳細な説明を。

総務課長 各種団体、事業所、有識者より10名を選出し、2回の委員会開催を予定している。



ケーブルテレビとは、地上波放送や衛星放送を受信し、ケーブルテレビ網（光ファイバーケーブルと同軸ケーブル）を使って各家庭までお届けするシステムです。

問 今後の取り組みは。

総務課長 10月に県のヒアリングとなっているので、8月中にまとめて、9月中にこの諮問委員会を開きたい。

問 温泉館運営検討委員会委員報償費についての説明を。

温泉館長 学識経験者、団体代表者の中から経営などに博識のある方、5名を考えている。

問 この温泉館については議会毎に問題となっている。今になって責任を転嫁するのか。

温泉館長 年々赤字が累積している中で、その対処をどうして行くかを検討しながら今後取り組んで行く。

特別会計

老人保健

既定の予算額に1127万6千円を追加し、総額8億9814万1千円とする。主な内容は、平成16年度老人医療費償還金。

国保条例の一部改正

国保税介護納付金改定

	旧税率(額)		新税率(額)
所得割	1.35%	➔	1.6%
資産割	5.5%		6.0%
均等割	7,300円		8,200円
平等割	4,200円		4,700円

下水道工事請負契約の締結議案第49号

下水道対策特別委員会で審査

内原東地区（第2工区）管路施設工事

契約額 5,302万5千円（落札率93.7%）

施工業者 株式会社 崎山工業

工期 平成18年1月14日

当委員会は、付託された議案等について6月15日、20日に委員会を開催し、町長、助役、担当課長の出席を求め、昨年度より現在に至る入札結果、設計状況、工事指名業者の選定などについて慎重に審査を行った。

主な質疑

問 設計額、調査基準価格（最低制限価格）を公表した中での競争入札であるが、いつも高い落札率だがどう考えているか。
上下水道課長 適正な設計の中での入札結果であると考えている。

問 調査基準価格を公表しているが、これで十分な工事ができるのか。
上下水道課長 できると考えている。

問 指名業者選定審査会の今後の対応は。
助役 今後、工事規模などに応じ、準指名業者（町内に営業所や支店を設けている町外の業者）を入札に加え競争力を高めていく。

問 今後業者に対する取り組みは。
町長 建設業組合の役員を呼んで、委員会の意見を伝え、指導していく。さらに業者を対象に研修会を開き、工事管理及びコスト削減をして入札率の低下を図って行くよう努力する。

委員会報告

以前からもこの高率な入札結果については、各議員から再々指摘されてきているところであるが、その取り組み対策が何ら講じられてきていない。平成16年度の入札結果12件、本年度すでに入札している3件、すべての入札率は94%以上と高率である。

これから単独自立を歩む日高町にとっては、非常に厳しい財政状況の中、懸命に行政改革に取り組んでいるところであるが、これらの現状をみるに、改革への認識が非常に甘いと言わざるを得ない。今後は準指名業者を加えて競争力を高めるとともに業者を対象に研修会を開き、入札率の低下を図るという事であるが、最小の経費で最大の効果を求めるのが行政の責務である。

そういった観点から、また、行財政改革においても、今後より一層の取り組み改善を強く求めて、本議案については慎重審査の結果、全委員一致で原案通り可決すべきものと決定した。

この本会議での委員会報告のもと、委員長に対する質疑を行い全議員一致で本議案は可決された。



いよいよ着工へ（内原駅前）

第3回臨時議会

5月20日に開会し、報告（専決処分）8件、議案1件が提案され、いずれも原案通り可決した。
専決処分

（日高町税条例の一部改正）
地方税法の一部改正に伴い、個人住民税の高年齢者非課税措置を廃止する条例改正。

平成17年度 一般会計補正予算

既定の予算額に1億6062万円を追加し、総額40億3427万6千円とする。

主な内容は、ZTV出資金12万円。新世代ケーブルテレビ施設整備事業費補助金として1億6050万円。

主な質疑

問 ケーブルテレビへの今後の町の取り組みは。

町長 難視聴の回避、福祉、防災、教育、その他行政全般についての広報等に大いに活用したい。

未来をきずく

Q & A いっぽん質問

西岡 佳奈子 議員 車いすでも利用できる公民館に 教育長 耐震診断を



47年2月に竣工、33年目を迎えている。

1階は車いすの利用が可能であるが、2階については階段幅もせまく階段昇降リフトは設置できない。

平日は職員が車いすを持ち上げ対応している。土、日、夜間は使用者による対応をお願いしている。

いすタイプのリフトであれば可能ではないかと思うが、一度調査をしていただきたい。

また、今後のことを考えたときに、耐震診断の問題はどうなっているか。耐震診断を行い、その結果を待って車いすでの対応を検討したい。

学校については耐震補強が終了している。その他の公共施設に対



階段昇降リフト

車いすで2階は利用しにくい

中央公民館は、日高町にとって非常に大事な施設だと考える。耐震診断をした上で、町民誰もが利用しやすい公民館となるよう、総合的な検討をすべきだと思います。

町執行部と一緒に、総合的に検討していきたい。

住民を守る防波堤

昨年、自立の道を選択する中で、財政計画が示された。

行政改革大綱の策定と絡めて財政計画の見直しが必要では。

今年10月の県のヒアリングに備え、財政計画の見直しを行い、中長期的財政健全化計画を策定したい。

国政レベルでは、増税や社会保障の負担増が相次ぎ、国民全体で7兆円もの負担が増えるといわれている。

そんな中で住民にとっては、地方自治体が最後の防波堤となる。

その点を十分理解した上で住民を守るための財政計画、行政改革でなければならぬと思うかどうか。

住民福祉向上を基に努力していく。



松本 秀司 議員

配膳室にエアコンを

教育委員長 良い方向で結論を出す



今日もおいしく「いただきま〜す!!」(志賀小学校)

問 これから大変暑い夏に入っていく、一番心配している食中毒の発生しやすい時期である。給食委託業者の方では十分な安全管理に努めて

くれていると思うが、学校の配膳室では高温が予想され、早急にエアコンを設置し、しっかりと安全管理をするべきだ。
教育長 搬入から給食ま

からして万全を期するの
が本意だと思う。
良い方向で結論を出す。

問 今回の廃止にともな
って保護者が納得できな
い事がある。
本来するべきことをし
ていなければこういう問
題が起きてくる。
ある保護者は4人目の
子どもを2才児保育に入
れたら、これまで無料で
あったが4万4千円にな
った。

で1時間程度配膳室に保管する。
今後は栄養士と検討しながら次年度に要望したい。
問 そういう悠長なことを言っていていられないと思う。事が起こってからは遅い。安全安心はお金に代えられないのではない。
教育委員長 私も全く同感である。我々は給食に取り組んできたその基となるところは、人を良くすると書いて「食」、そういう意味

保育料の減額施策廃止

問 保育料の減額施策が廃止された。
この施策については、今でも復活して欲しいとの要望が多いことについてどうか。
町長 町にとっ
ては、近年にも増して非常に厳しい財政状況となった。
乳幼児医療費の就学前までの無料化を
継続させるほうが、大勢の皆様に喜んで頂けるもの
のと思い、17年度より廃止することを決断した。
現時点では復活すること
とは考えていない。

1時間に553台

入所して初めて聞かされ仕方なく1ヶ月保育してもらいやめたという。
改正された保育料が4月の保育所の入所までに保護者に全く通知せずに周知しなかったことについてどう考えるか。
町長 反省し、今後はそんなことのないように早く知らせる。
問 谷口三又路での夕方5時から1時間、交通量を調べた結果、10分毎に約90台、合計553台、夏場はもっと増える。
また大きな事故の起こる可能性が高い。
この谷口三又路改良工事について早急に取り組むべきではないか。
町長 県道路予算が大変厳しくなったことと、地権者の理解が得られなかったので遅くなっている。
18年度以降に事業実施していく。

中村 性一 議員



レジ袋をゴミにするのはもったいない

町長 買い物袋持参をよびかける



あ～ もったいない レジ袋

問 ひとり当たりのレジ袋の消費量は年間5.5kgという調査結果もある。町内の買い物に行く人口を6500人前後と推定すると、レジ袋の年間消費量は約36トンにもなる。

清掃センターなどへの

歳出削減と地球温暖化防止の両面から買い物袋を持参するよう町民に呼びかけてはどうか。

町長 深刻な問題である。毎月発行している「お知らせ」で呼びかける。

問 国は循環型社会形成

基本計画の中で、平成22年度には10年前のゴミ最終処分量をおおむね半減したいという目標である。

当町のゴミ総量は毎年増加しているが、減量化基本計画に照らしてはどうか。

保健衛生課長 基本計画を立てていない。県でも廃棄物の発生抑制や再利用促進等の基本計画を立てている。勉強して対応したい。

問 地球温暖化対策実行計画の削減目標に対してはどうか。

保健衛生課長 計画自体できていない。

問 法律で義務付けられている。

町長 法に基づいて取り組む。

住民の声を反映させる行革を

問 行財政改革取

り組みの現状を伺いたい。

町長 平成17年度予算で職員給与・特別職の報酬や事務事業の見直し等を行った。

さらに、平成22年度を目標とした行革大綱を作成すべく、4月に行革推進本部を立ち上げ、現在すべての事務事業の見直し等行っている。

させる行革にされたい。十分検討する。

なたねで町おこし

問 熊野川町の休耕田に菜種を栽培して地球温暖化防止の循環型社会をめざす取り組みを和歌山大学と県、地域住民との共同で実施された。

菜の花は觀光に、菜種油は学校や保育所の給食に、油かすは有機肥料に、使用後の油はバイオディーゼル燃料としてトラクターなどに使うというサイクルです。

熊野川町には、バイオ燃料精製プラントも設置され循環サイクルが完成子どもたちに伝える絵本「あぶらくんのながい旅」が発行されました。当町でも町おこしの参考にされたい。

町長 勉強して検討する。



人権擁護委員に 鷗上 桂子氏

任期満了にともない、引き続き人権擁護委員として推薦したいと諮問があり、全員一致で適任と認めた。任期は3年。

意見書

東南海・南海地震に備えた 地方の道路整備の 促進を求める意見書

「紀伊半島に位置する当町では、近年、恵まれた自然環境等を生かした観光産業による地域振興に取り組んでいるところであるが、道路整備が最も重要な課題となっている。

また、近い将来予測される「東南海・南海地震」の津波により、沿岸部集落の孤立化が懸念されている。

そのため、緊急輸送を担う代替路の整備や、橋梁及び法面補強等の防災対策が喫緊の課題となっている。

このような実情に鑑み、真に必要な道路整備が一層推進されるよう強く要望する。」

右記内容の意見書を全議員の賛成で可決し、内閣総理大臣、衆議院議長他、国の機関に送付した。



急がれる防災対策（県道御坊由良線）

分権時代の新しい 地方議会制度の構築を 求める意見書

「地方議会は、その最も重要な機能である立法的機能・財政的機能・行政監督機能を充実強化し、今まで以上に行政執行へのチェック機能を向上させ、分権時代に期待される議会の役割を果たしていかなければならない。

しかし、現行制度は、議会の招集権が長にあること、付再議権の行使が長の認定にゆだねられていること、条例や予算が専決処分される例があることなど、二元代表制を採用しながらも、長と議会の機能バランスを欠き、議会本来の役割が発揮されていない。

さらに、議員定数の上限値規定、一人一常任委員会の就任制限などの制約規定は、議会の組織・運営を硬直化し、議会の自主性・自立性を弱め、議会の活性化を阻害している。

よって、国において改善のための所要の措置を早急に講じ、分権時代に対応した新たな地方議会制度を構築されるよう、強く要望する。」

右記内容の意見書を全議員の賛成で可決し、内閣総理大臣、衆議院議長他、国の機関に送付した。



議会のあり方について

子供たちを守ろう

総務文庫常任委員会

5月18日、志賀保育所、志賀小学校、日高中学校を視察した。

志賀保育所では、昨年度行われた施設の増改築の状況について、今年度から始まった0、1歳児の保育状況、防犯対策について聞いた。

0、1歳のクラスでは、園児7人に対し、保育士3人が保育にあたっていている。防犯対策では、園児登園後は、門扉を閉め、職員が防犯ベルを携帯しているものの、苦慮しているとの話であった。

志賀小学校では、防犯対策について話を聞いた。小学校としての危機管理マニュアルを作ることが課題であるとのことであった。また、サスマタや催涙スプレー、教室と職員室を結ぶインターホンなどの要望もあった。日高中学校では、防犯対策と学校給食実施状況について話を聞いた。同校でも、マニュアル

では対応できない事態も考えられ、不審者対策は非常に難しい問題であるとの認識であった。また、巡回の警備員配置なども考えて欲しいという要望が出された。不審者対策の防犯訓練は、昨年、農改センターにおいて保育所、小中学校を対象に行われた。今年度も、警察等関係機関の協力を得て実施の予定である。委員からは、小中学校とも、門扉を閉めるというところからすべきであるという意見が出された。



0、1歳の保育が始まった（志賀保育所）

昨年10月から実施されている学校給食は、4月現在97%の高い申し込み率になっている。献立はカロリーや栄養素を計算したものとなっている。また、食べ残しについては、実施当初に比べると残す率が増えてきているという報告もあった。生徒による配膳、食事の様子は整然と行われ、「おいしい」という声が聞かれた。

わが町の県道は

産業建設常任委員会

4月14日、町内の県道の改良計画について、建設課長の説明を聞いた後、谷口三叉路と原谷の井関御坊線の改良計画の現場を視察した。

まず、平成16年度の工事箇所は3カ所、御坊湯浅線の池田地区は完成、また、御坊由良線の方杭地区は本年度舗装をして完成、産湯地区については引き続き、継続して事業を進める。

次に、現在、要望中の箇所であるが、まず井関御坊線の新鹿ヶ瀬トンネルから、町道鹿ヶ瀬線の入口附近の、すでに2車線化された所までの、1600メートル区間については、今の現道を拡幅しながら、2車線化することを検討中である。

次に、谷口三叉路の交



早期改良を（谷口三叉路）

編集後記

田植えも終わって早や2ヶ月経過し、西山山頂より日高平野を眺めると稲の成長も早く、緑のじゅうたんをしきつめた田園風景がととてもすばらしい我がふる里!!

私たち委員はより一層充実した内容の紙面をお届けできるように努力を重ねますので、皆様方のご意見ご感想をお聞かせいただきたくお願いいたします。

正之